

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	05-04-04		戦略プラン	●協働 ○業務 ○財務 ○人事				
事務事業名	中央図書館運営費		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課		課長名	小林	
			担当者名	村上		内線	2256	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-04-01	中央図書館運営費						
事務事業の種類	○新規事業（○30年度 ○29年度）			○建設事業 ●それ以外の継続事業				
開始年度	○昭和 ●平成	28年度	根拠	図書館法、荒川区立ゆいの森あらかわ条例、				
終期設定	○有 ●無	年度	法令等	荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	図書資料や図書館オンラインシステムを充実させ、関係機関と協力して読書活動に親しむ多様な事業展開を行うことによって、子どもたちの読書環境の向上や区民の読書活動を推進し、利用者全体の課題解決や生涯学習を支援する。							
対象者等	図書館利用者、その他図書館等関係機関							
内容	<p>○多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、より専門的な資料から一般的な資料まで購入し誰でも利用しやすい環境を整え提供する。</p> <p>○30万冊規模の開架の書架等を活用し、特集コーナー等の設置やイベントとの関連資料を展示することで、図書資料を積極的に活用する。</p> <p>○大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。</p> <p>○絵本館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行う。特に、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、関係部署と連携しながら事業を進める。</p> <p>○「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、地域図書館、学校図書館、街なか図書館が連携し、本が身近にあるまちづくりを進める。</p> <p>【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊</p> <p>【資料】 書籍 AV 雑誌 新聞紙</p>							
経過	<p>昭和37年 3月 荒川図書館開館</p> <p>平成5年10月 図書館オンラインシステム稼働</p> <p>平成10年 5月 南千住図書館開館</p> <p>平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」、「荒川区子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>平成19年 3月 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定</p> <p>平成20年 7月 第1回柳田邦男絵本大賞を創設、「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始</p> <p>平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定</p> <p>平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」策定</p> <p>平成28年12月 荒川図書館閉館</p> <p>平成29年 2月 新図書館オンラインシステムへ変更</p> <p>3月 中央図書館開館</p>							
必要性	多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動及び生涯学習等、生涯に渡り学ぶことによって、自ら課題を解決することができる環境づくりに必要な事業である。							
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 図書館オンラインシステム機器保守委託、図書装備委託など							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	区民1人当たりの蔵書冊数(点)		4.01	4.22	4.41	4.80	(全館) 蔵書点数÷住基人口
	②	区民1人当たり個人総貸出点数(点)		8.25	9.64	9.94	10.0	(全館) 貸出点数÷住基人口
③	おはなし会年間参加者数(人)			2,325	3,000	3,600		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	推進		「読書を愛するまち・あらかわ」を実現するため、図書館サービスについて周知し、活用してもらう必要がある。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額						-	136,150	132,209
決算額(30年度は見込み)						-	123,564	132,209
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
入館者数(人)						15,991	690,094	700,000
個人総貸出点数(点)						15,115	690,271	750,000
特集コーナー設置数(回)						7	73	75
おはなし会開催回数(回)						0	74	75
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
			賃金	臨時職員賃金	6,898	賃金	臨時職員賃金	7,182
			報償費	各種講座講師謝礼	1,172	報償費	各種講座講師謝礼	2,329
			需用費	図書資料購入費等	49,280	需用費	図書資料購入費等	48,733
			役務費	配本車運行料等	13,022	役務費	配本車運行料等	13,555
			委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	23,174	委託料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	33,540
			使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	27,470	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	26,414
			備品購入費	備品購入費	2,447	備品購入費	備品購入費	200

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目		28年度	29年度	差額
	行政費用	給与関係費			80,430		地方税			0
物件費				122,290		国庫支出金			0	
維持補修費				0		都支出金			0	
扶助費				0		分担金及び負担金			0	
補助費等				1,274		使用料及び手数料			0	
減価償却費				0		その他			544	
不納欠損・貸倒引当金繰入額				0		行政収入合計(a)	0		544	0
賞与・退職給与引当金繰入額				24,211		行政収支差額(a)-(b)=(c)	0		▲227,661	0
その他行政費用				0		金融収支差額(d)			0	
行政費用合計(b)		0	228,205	0		通常収支差額(c)+(d)=(e)	0		▲227,661	0
特別費用(g)			0		特別収入(f)			0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	0		▲227,661	0	

備考
 主な行政費用は物件費であり、資料購入費34,888千円、システム関係費用39,862千円、配本車運行料10,610千円、臨時職員賃金6,898千円等である。また、補助費はイベントでの講師謝礼等である。行政収入は、コピーサービス利用料となっている。

- 問題点・課題
- ・多様化するニーズを的確に把握し、充実した図書館サービスを提供する必要がある。
 - ・サービスの向上に当たっては、行政コストとのバランスを考慮する必要がある。
 - ・中央館と地域館との役割分担を整理し、各々特色ある図書館を運営していく必要がある。
 - ・館外視察や企画運営力向上のための研修の実施など、職員の能力向上を図っていく必要がある。
 - ・図書館におけるボランティア活動のさらなる充実を図っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	特色のある区立図書館となるよう、中央館と地域館との役割分担について整理する。	各図書館において、それぞれ分野を定め専門資料を収集し特色ある蔵書整備を進めるとともに、地域に根差した事業を実施している。	図書館における特色のあるサービスや俳句資料収集も含め内容について検討し、より多くの方の利用に繋がる施設づくりを進める。
②	絵本コーナーの魅力向上のため、フロア装飾等を行うとともに、絵本に関する講座開催について検討し、実施する。	魅力的に展示された書架づくりを進めるとともに、おはなし会やボランティア養成講座などを開催し、図書館事業の充実を図った。	フロア装飾に加え、開架書架等を活用した特集コーナーの設置や他部署と連携したイベント関連資料の展示を展開する。
③	国内外の俳句資料を継続して収集し、関係部署と連携し、保有資料を活用した講座等についても開催する。	関係部署と連携し、俳句資料を寄贈頂いている現代俳句協会による講演会を開催する共に、俳句ポストを館内に設置した。	職員の能力向上のための研修を実施するとともに、本の修理等養成講座を開催し、図書館に携わるボランティア活動の枠を広げる。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	中央図書館については全区が設置し、子ども読書推進計画の策定、図書館オンラインシステムが導入されている。

議(会)質(問)状	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 予特 読み聞かせの推進とボランティアについて ・平成27年度 決特 運営方針等について ・平成27年度 11月会議 図書館機能の準備について ・平成29年度 決特 図書館システムについて ・平成29年度 決特 図書館通帳について
-----------	--

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-05-01		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		地域図書館施設の管理		部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬	
		担当者名	黄幡	内線	436			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-01-01	管理費					
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	25年度		根拠	建築基準法等			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	図書館施設の適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、安全面での利用者サービスの充実を図る。							
対象者等	図書館利用者							
内容	区立図書館（4館）とサービスステーション（2カ所）の保守及び維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1／敷地面積2,723.96㎡／延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・尾久図書館：西尾久3-12-12／敷地面積1,328.94㎡／延床面積1,201.82㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18／都営住宅敷地内／延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4／敷地面積893.92㎡／延床面積1,369.66㎡ ・汐入図書サービスステーション：南千住8-12-5-109・113・114／延床面積124.07㎡ ・冠新道図書サービスステーション：西日暮里6-25-14／延床面積181.44㎡							
経過	・昭和37年 3月 荒川図書館開館、昭和46年 9月 尾久図書館開館、昭和48年 4月 旧南千住図書館開館、昭和51年10月 町屋図書館開館、昭和54年 6月 日暮里図書館開館 ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成16年 9月 地域館の機械警備を実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 ・平成19年 9月 汐入サービスステーションを開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充） ・平成21年11月 冠新道サービスステーションを開設 ・平成25年 4月 地域館に夜間警備員を配置、翌3月 地域館に防犯カメラを設置 ・平成28年12月 荒川図書館廃止 ・平成29年10月～平成30年4月 日暮里図書館大規模改修							
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。							
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 専門知識の有する事業者に保守点検、維持管理業務等を委託し実施している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	①	入館者数（人）	1,271,337	1,196,773	869,287	963,000	1,040,000	地域各図書館の入館者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
継続		継続		図書館の管理運営にかかる事業であり、前年度並の決算額を目指し、効率的な維持管理業務の執行に努め、継続して実施する。				

予算・決算額の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		58,456	65,168	64,042	80,333	85,525	71,709	73,907
決算額(30年度は見込み)		57,758	62,204	62,892	75,052	73,981	63,644	73,907
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	地域図書館入館者数(人)	1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,271,337	1,196,773	869,287	963,000
	光熱水費(千円)	28,843	29,101	31,108	29,594	25,837	21,495	26,460
	保守管理委託費(千円)	25,391	29,232	27,806	25,026	29,853	25,197	28,914
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	電気・ガス・水道等	25,937	需用費	電気・ガス・水道等	21,593	需用費	電気・ガス・水道等	26,460
役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,215	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	2,956	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,227
委託料	各館設備保守業務委託	29,852	委託料	各館設備保守業務委託	25,197	委託料	各館設備保守業務委託	28,914
使用料等	SS賃借料	13,975	使用料等	SS賃借料	13,898	使用料等	SS賃借料	13,392

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	行政収入	勘定科目		28年度	29年度	差額
	給与関係費		8,190	10,757	2,567		地方税		0	0	0
物件費		73,981	63,644	▲ 10,337	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		42,771	41,941	▲ 830	その他		1,529	1,479	▲ 50		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		1,529	1,479	▲ 50		
賞与・退職給与引当金繰入額		406	555	149	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 123,819	▲ 115,418	8,401		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		125,348	116,897	▲ 8,451	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 123,819	▲ 115,418	8,401		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 123,819	▲ 115,418	8,401		

備考 平成29年度は28年度末にゆいの森あらかわが開館し荒川図書館を廃止したことにより物件費が減少した。

問題点・課題 ・光熱水費や通信費の節約とともに保守点検結果等を活用し、設備の適正な維持管理に努める。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	各館のあり方を踏まえ、維持管理及び保守点検業務の長期継続契約の方法を検討していく。	各保守点検業務の契約期間、内容の見直しを実施した。	今後の大規模改修の計画を進め、長期継続契約のあり方を検討していく。
②			
③			
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)		
議会議決(要旨)	平成29年度予特 町屋図書館の今後の建替え予定について 平成29年度9月 日暮里図書館の大規模改修の内容について 今後の図書館改修について		

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-05-02		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		特色ある地域図書館の推進		部課名		地域文化スポーツ部地域図書館課		
				課長名		成瀬		
				担当者名		高橋		
				内線		436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-02-02		図書資料費				
		01-02-03		読書活動推進事業費				
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 （ <input checked="" type="radio"/> 30年度 <input type="radio"/> 29年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		29年度		根拠		
終期設定		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度		法令等		
実施基準		<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系		分野		V 文化創造都市				
		政策		10 活力ある地域コミュニティの形成				
		施策		03 「読書のまちづくり」の推進				
目的		館ごとに地域の特色を踏まえた資料収集を充実し、読書の楽しみを味わうことと併せ、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指すとともに、地域交流の輪をさらに広げる拠点となることを目的とする。						
対象者等		図書館利用者						
内容		【特色ある蔵書】 ・荒川区立図書館資料収集要綱及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方に基づき、生涯にわたる読書活動を推進するため、地域特性や多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供する。 【新たな事業展開】 ・発信とアウトリーチ：出張おはなし会等の開催、街なか図書館の整備等 ・心地よい居場所づくり：多様な閲覧席の整備、子どもから高齢者までの居場所づくり等 ・区民参加の促進：図書館ボランティアの育成、専門家によるワークショップの実施等 【各館の特色】 ・南千住：松尾芭蕉関連コーナー、ふるさと文化館との連携事業 ・尾久：大人向け事業の実施 ・町屋：保育園・中学校との連携事業 ・日暮里：日暮里繊維街や日本語学校等地域との連携事業						
経過		・平成29年4月 地域図書館課設置 ・平成30年5月27日ゆいの森あらかわ開館一周年記念イベントのフィナーレで「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を発表						
必要性		荒川区全体が「読書のまち」となるよう読書環境の整備をするために必要な事業である。						
実施方法		（ <input checked="" type="radio"/> 直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input checked="" type="radio"/> 臨時職員 ）						
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			27年度	28年度	29年度	30年度 見込み		目標値 (38年度)
	①	入館者数	1,271,337	1,196,773	869,287	963,000	1,040,000	地域図書館の入館者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
	②	おはなし会・おたのしみ会の参加者数	4,931	5,188	3,234	3,400	5,250	地域図書館のおはなし会参加者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度		31年度						
重点的に推進	重点的に推進		地域図書館の魅力をさらに発揮できるように、各館の利用者や地域の特色を踏まえた資料収集や独自の取組を実施する。					

予算・決算額等の推移	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額	79,671	75,335	75,147	77,158	75,067	72,340	60,212
決算額(30年度は見込み)	77,515	73,774	74,692	75,849	71,366	68,794	60,212
実績の推移							
事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
図書雑誌蔵書冊数(冊)*地域館分	760,077	769,836	766,826	722,573	542,975	524,779	600,000
個人総貸出点数(点)*地域館分	1,959,488	1,910,884	1,882,661	1,904,021	1,465,239	1,290,495	1,400,000
事業の実施回数(回)	—	—	—	—	—	307	320
入館者数(人)	1,311,706	1,251,384	1,288,224	1,271,337	1,196,773	869,287	963,000

予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	資料、消耗品等	66,426	需用費	資料、消耗品等	58,907	需用費	資料、消耗品等	58,260
				委託料	9,627	報償費	事業講師謝礼等	176
				報償費	255	委託料	街なか図書館看板	480
				食糧費	5	備品購入費	ブックワゴン	1,296

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
	給与関係費	23,281	43,884	20,603	地方税	0	0	0
	物件費	70,638	68,539	▲ 2,099	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	728	255	▲ 473	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,153	2,263	1,110	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 95,800	▲ 114,941	▲ 19,141
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	95,800	114,941	19,141	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 95,800	▲ 114,941	▲ 19,141
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 95,800	▲ 114,941	▲ 19,141

備考 平成29年度は28年度末にゆいの森あらかわが開館し荒川図書館を廃止したことにより物件費が減少した。

問題点・課題
 ・地域に根ざした特色ある蔵書づくりに基づき、各館の分担収集を進め、区民の知的好奇心を満たす新鮮で魅力ある書架構成を行うには、図書館職員の選書能力の向上及び専門性を高めるため図書情報や社会情勢への更なる研鑽が必要である。
 ・各館の利用者像や地域の特色を踏まえた資料収集や独自の取組を実施し、地域図書館の魅力をさらに発揮できるような事業展開、情報発信に取り組んでいく。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	俳句コーナーをはじめ、各地域の特色を出した資料の充実を図り、地域住民に積極的に情報発信を行うコーナーを充実させる。	俳句コーナーをはじめ各地域の特色を踏まえた資料の充実を図り、地域住民へ情報発信を行った。	改修後の日暮里図書館をはじめとして、各館特色のあるコーナーの更なる充実を図る。
②	各館を中心とした街なか図書館を展開する。	街なか図書館の整備に向けた検討を行った。	平成30年度に10か所程度の街なか図書館の開設を目指し、更なる施設数の拡充に向けて引き続き検討を行う。
③			

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
 全館直営で実施しているのは荒川区のみ

況議(会質問) 平成28年度決特 ゆいの森あらかわ開設以降の地域図書館のあり方について
 平成29年度9月 読書のまち宣言について

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		22,263	23,168	22,425	4,320	106,276	210,657	23,061
決算額(30年度は見込み)		20,721	21,504	20,748	4,320	71,040	209,632	23,061
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
全館改修工事件数(件)		4	3	1	1	3	2	1
地域図書館入館者数(人)		1,311,706	1,291,384	1,288,224	1,271,337	1,196,773	869,287	963,000
予算・決算の内訳		平成28年度(決算)		平成29年度(決算)		平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
工事請負費	町屋トイレ・日暮里屋上防水工事等	57,764	家屋等修繕費	中央監視装置交換	4,860	工事請負費	南千住受変電設備改修工事	16,601
			委託料	日暮里空調設備等改修工事設計委託	11,340			
			工事請負費	空調設備等改修工事	186,299			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費		18,773	6,915	▲ 11,858		地方税	0	0
物件費		0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費		19,721	11,993	▲ 7,728	都支出金	0	3,047	3,047	
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費		0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	0	3,047	3,047	
賞与・退職給与引当金繰入額	930	357	▲ 573	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 74,560	▲ 16,218	58,342		
その他行政費用	35,136	0	▲ 35,136	金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)	74,560	19,265	▲ 55,295	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 74,560	▲ 16,218	58,342		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 74,560	▲ 16,218	58,342		

備考 行政費用では平成29年度は27件の修繕を行い、維持補修費が11,993千円かかっている。行政収入では日暮里図書館トイレ洋式化に伴うユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助金で3,047千円収入があった。

問題点・課題
 ・南千住図書館は荒川ふるさと文化館と併設のため、照明・空調等の改修については実施時期を調整し、中長期の改修計画を立てていく必要がある。
 ・町屋図書館は老朽化しているが、東京都から行政財産の使用許可を受けている施設であり、東京都の都営住宅の建替えの動向を注視する必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	南千住図書館の中央監視装置の交換ならびに日暮里図書館の大規模改修工事を実施する。	南千住図書館の中央監視装置の交換を実施した。 日暮里図書館の大規模改修に着手した。	南千住図書館の受変電設備改修工事を実施する。 日暮里図書館の大規模改修工事を完了させる。
②	町屋図書館の今後のあり方及び備品等の更新を検討する。	町屋図書館の閲覧用椅子を更新した。	引き続き、町屋図書館の今後のあり方や備品等の更新を検討する。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
況議(要質問状)	平成29年度予特 町屋図書館の今後の建替え予定について 日暮里図書館の大規模改修の内容について 平成29年度9月 今後の図書館改修について

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード		05-05-04		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		新尾久図書館の整備		部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬	
				担当者名	村上	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）		01-01-01		新尾久図書館整備事業費				
事務事業の種類		<input checked="" type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 30年度 <input checked="" type="radio"/> 29年度)		<input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	28年度		根拠				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	32年度		法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準			計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市						
	政策	10 活力ある地域コミュニティの形成						
	施策	03 「読書のまちづくり」の推進						
目的	現在の尾久図書館は、開設から40年以上経過し、老朽化が著しいため、宮前公園内に新たに整備する。整備に当たっては、地域の図書館としての魅力がさらに高まるよう、従来のハード面、ソフト面のサービスに加え、今後の図書館に必要な機能を兼ね備えた施設になるよう検討し、地域の区民や、宮前公園の利用者に親しまれ、地域のランドマーク的な施設になるようにする。							
対象者等	図書館利用者							
内容	【（仮称）宮前公園内新尾久図書館のコンセプト】 ①宮前公園内につくる地域の区民が日常的に利用できる身近な図書館 飲食コーナー、バリアフリー、安全性確保 ②地域における生涯学習活動の拠点 地域に関する資料、荒川区や地域にゆかりのある文学作品・文化芸術 ③地域内の小・中学校、幼稚園、保育園、ひろば館、ふれあい館、高齢者施設等との連携、交流の拠点 子どもから高齢者まであらゆる区民の方が読書に親しめる機会の提供、ネットワークの充実 ④地域交流や情報収集・発信の拠点 区役所各部課と連携した取組の提供、図書館ボランティアをはじめとする地域活動拠点							
経過	・平成28年度 基本設計 測量、地盤調査 ・平成29年度 実施設計 ・平成30年度 実施設計・建設工事							
必要性	地域の活動・情報発信・交流の拠点として、地域に根差した図書館サービスの更なる充実のため必要な事業である。							
実施方法	（ 3委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 実施設計を完了させ、建設工事に着手する。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	①							
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
30年度	31年度							
重点的に推進	重点的に推進	区民や宮前公園の利用者に親しまれ、地域の図書館としてシンボリックな建物になるよう設計、建設準備を進めていく。						

予算・決算額の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
予算額						-	40,250	15,956	543,201
決算額(30年度は見込み)						-	37,624	15,826	543,201
実績の推移	事項名(30年度は見込み)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	入館者数(人) 尾久	156,031	150,545	154,787	157,499	166,483	141,480	145,000	
	個人貸出者数(人) 尾久	280,788	265,940	266,202	273,046	256,878	234,213	240,000	
予算・決算の内訳									
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)			
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	
報償費	評価委員謝礼	245	報償費	アドバイザー謝礼	26	旅費	工事検査旅費	82	
食糧費	評価委員会飲食物	4	委託料	実施設計	15,800	需用費	工事にかかる消耗品	205	
委託料	基本設計業務委託	37,375				委託料	実施設計、工事管理業務委託	47,458	
						工事請負費	建設工事	495,300	

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額		28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	3,520	2,305	▲1,215	地方税	0	0	0
	物件費	4	0	▲4	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	245	26	▲219	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	174	119	▲55	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲3,943	▲2,450	1,493
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	3,943	2,450	▲1,493	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲3,943	▲2,450	1,493
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲3,943	▲2,450	1,493	

備考 平成29年度は新尾久図書館整備アドバイザーからの意見聴取に係る謝礼(報償費)として補助費等が26千円かかっている。

問題点・課題
 ・今後の地域図書館で充実すべき具体的機能を備え、地域に根差した新しい事業展開が実施できるようハード、ソフトの両面を検討していく必要がある。
 ・公園内に立地するという特性を活かした事業を検討していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組む具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	具体的機能 ・関係各課と連携し、実施設計を進めて行く中で具体的機能を検討していく。	具体的機能 ・関係各課と連携し、実施設計を進め、グループ学習室やブックカフェ等具体的機能を検討した。	具体的機能 ・実施設計を完了し、建設工事に着手する。
②	事業展開 ・各関係者、区民、学識経験者等からヒアリングを実施しながら検討していく。	事業展開 ・各関係者へのヒアリングに加え、アンケート結果を踏まえた検討を行った。	事業展開 ・各関係者、福祉団体、区民、学識経験者、商業団体からヒアリングを引き続き実施する。
③	運営体制やサービス ・機能、運用方法、移転計画を引き続き検討していく。	運営体制やサービス ・落語会等の具体的イベントの検討を行った。	運営体制やサービス ・機能、運用方法、資料購入、移転計画等を引き続き検討する。

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
況議(会質問状)	平成29年4月 文教子育て支援委員会 宮前公園内新尾久図書館の基本設計について